



## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔米国会計基準〕(連結)

平成23年1月31日

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス  
 コード番号 3591 URL <http://www.wacoalholdings.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 能交  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 大谷 郁夫  
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大

TEL 075-682-1028

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	128,373	3.1	9,195	52.0	8,717	57.9	4,637	23.2
22年3月期第3四半期	124,571	△8.0	6,051	△50.5	5,520	△44.6	3,764	△41.3

  

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	32.83	32.80
22年3月期第3四半期	26.65	26.63

#### (2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	221,276	172,181	170,290	77.0	1,208.98
22年3月期	223,387	173,553	171,630	76.8	1,215.52

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	20.00	20.00
23年3月期	—	—	—		
23年3月期(予想)				20.00	20.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	168,000	2.9	5,600	47.0	5,100	63.3	3,200	26.8	22.66

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.5「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 143,378,085株 22年3月期 143,378,085株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 2,524,321株 22年3月期 2,179,739株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 141,241,625株 22年3月期3Q 141,254,486株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後実際の業績は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、当社の実際の業績と大きく異なる結果となる可能性があります。これらのリスクや不確実性、その他の要因には以下のものが含まれます。

- ・経済環境の悪化により国内市場及び海外市場の景気が低迷し当社の業績が悪化するリスク
- ・国内の百貨店、量販店及びその他一般小売店の業績不振や営業政策の変更によって当社が影響を受けるリスク
- ・消費者の嗜好を的確に予測しそれに応える能力及び高品質な商品を提供する能力が期待される成果を生み出さないリスク
- ・激しい市場競争により当社の販売シェアや利益率が低下するリスク
- ・SPA（製造小売）事業ネットワークの拡大が売上や利益の拡大につながらないリスク
- ・カタログ及びインターネット販売の強化による売上増加が達成できないリスク
- ・販売不振による在庫の増加が業績を悪化させるリスク
- ・コスト削減が成功せず利益が減少するリスク
- ・有能な人材確保ができず人材が不足するリスク
- ・季節の天候不順の影響により業績が悪化するリスク
- ・海外事業に関連して増加するリスク
- ・買収及びその他第三者との戦略的提携等の成否に関するリスク
- ・知的財産権に関連するリスク
- ・個人情報保護や当社の機密保持に関するリスク
- ・内部統制に関連するリスク
- ・有価証券に関連するリスク
- ・自然災害、疫病の発生等に関するリスク
- ・新市場の開拓における投資の回収に関するリスク

これらの詳細については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書（フォーム20-F）をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 5
2. その他の情報	P. 5
(1) 重要な子会社の異動の概要	P. 5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	P. 5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5) セグメント情報	P. 10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 11
(7) 販売の状況	P. 12

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

## ①当第3四半期の業績概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にあるものの、雇用情勢や所得水準は依然として厳しく、円高や株価低迷、また世界経済の減速懸念などの影響により、先行きが不透明な状況にあります。

女性ファッション衣料品業界においても、消費環境の一部に復調の兆しが見られるものの、個人消費の本格的な回復には至らず引き続き厳しい状況で推移しました。

このような経営環境のなか、当社グループは主力事業会社である株式会社ワコールを中心に、商品力の向上と消費者ニーズを的確にとらえた商品開発に注力するとともに、本年度4月より新たな中期経営計画をスタートさせ、成長力強化と収益力向上への取り組みを開始しました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、株式会社ワコールの売上は前年同期並みとなりましたが、海外事業が順調に推移したことや、昨年より完全子会社となった株式会社ルシアンが業績が連結されたこと、株式会社七彩の売上が回復したことなどにより、全体の売上高は前年同期を上回りました。営業利益は、株式会社ワコールにおいてコスト削減や経費の圧縮に努めたことや、米国事業の収益が改善したことなどにより、前年同期を上回りました。

●売上高	1, 283億73百万円	(前年同期比	3. 1%増)
●営業利益	91億95百万円	(前年同期比	52. 0%増)
●税引前四半期純利益	87億17百万円	(前年同期比	57. 9%増)
●当社株主に帰属する四半期純利益	46億37百万円	(前年同期比	23. 2%増)

## ②オペレーティング・セグメントの営業概況

## a. ワコール事業（国内）

株式会社ワコールのワコールブランド事業本部につきましては、ワコール人間科学研究所が4月に発表した研究成果「からだのエイジング（加齢による体型変化）」に基づくプロモーション活動が奏功し、基幹商品であるブラジャーが総じて好調に推移しました。幅広い顧客層に対して「からだの変化に合った下着選び」の重要性を訴求したことが、ブラジャー全体の底上げにつながりました。一方、新機能ボトムスタイルサイエンス商品群を中心に展開したガードル・パンツは前年を大きく下回りました。また季節商品の肌着についても他社商品との競合激化などの影響を受け、前年を大きく下回りました。これらの結果、主力のワコールブランド事業本部全体の売上は前年同期を下回りました。

ウイングブランド事業本部につきましては、店頭での売上は順調だったものの、得意先の在庫調整による影響を受けました。ブラジャーについてはワコールブランド同様、好調に推移しましたが、肌着が量販店などのプライベートブランド商品や他社商品の影響を受けたことや、ガードル・パンツが苦戦したこともあり、両アイテムともに前年を下回りました。メンズインナーは、ベーシックな商品やシニア世代向け機能商品は堅調に推移したものの、スタイルサイエンス商品「クロスウォーカー」が前年を割り込んだことが大きく影響し、売上は前年を下回りました。これらの結果、ウイングブランド事業本部全体の売上は、前年同期を下回りました。

SPA（製造小売）事業部につきましては、直営店「AMPHI（アンフィ）」において値頃感のあるブラジャーが好調に推移したことと、アウトレットモールで展開する「ワコールファクトリーストア」が順調に推移したことにより、SPA事業部全体の売上は前年同期を上回りました。

株式会社ワコールの子会社でSPA事業を行う株式会社ウナンナクールでは、既存店の売上が前年を下回りましたが、新規出店の効果もあり、全体の売上は前年同期を上回りました。

ウエルネス事業部につきましては、「CW-X（シーダブリューエックス）」ブランドにて展開している高機能スポーツタイツやスポーツブラが、健康志向の高まりも追い風となり売上を伸ばしました。また、機能性を重視したビジネスパンプスが、9月に行った交通広告の効果もあり好調に推移しました。これらの結果、ウエルネ

ス事業部全体の売上は前年同期を上回りました。

通信販売事業部につきましては、カタログ販売は秋号カタログが残暑の影響で立ち上がりに苦戦したこともあり、売上は前年を下回りました。一方、「ワコールウェブストア」として展開するインターネット販売は、限定商品の販売が話題となったことでウェブサイト全体の集客増加につながり、大きく売上を伸ばしました。これらの結果、通信販売事業部全体の売上は前年同期並みとなりました。

このようにSPA事業やウエルネス事業などは好調に推移したものの、主力事業であるワコールブランドやウイングブランドが前年同期を下回ったことなどにより、株式会社ワコール全体の売上は前年同期並みとなりました。一方、利益面につきましては、今期から取り組みを開始した構造改革による売上利益率の改善や経費削減が奏功し、営業利益は前年同期を大きく上回りました。

●売上高	873億44百万円	(前年同期比	1.2%減)
●営業利益	79億6百万円	(前年同期比	49.2%増)

#### b. ワコール事業 (海外)

海外事業(2010年1~9月)につきましては、米国事業は景気減速や個人消費の落ち込みが懸念されるなかで、シェア向上と商品展開の強化、さらに周辺国の売上拡大に積極的に取り組みました。売上面では主要取引先である百貨店で店頭在庫抑制の動きがあるものの、値頃感のあるブラジャーや補整機能のあるボトム商品が牽引し、売上は前年同期を上回りました。また利益面では売上の増加に加え、原価低減に伴う売上利益率の改善によって、営業利益は前年同期を上回りました。なお、当第3四半期における米ドルの為替レートは89円(前第3四半期94円)となっております。

中国事業につきましては、労働コストの上昇など不安定要素を含みながらも、内陸部を中心とした積極的な店舗展開を推進しました。ブランドの認知度が十分に浸透していないこともあり、新規店舗の売上は計画を下回りましたが、沿海部をはじめとした既存店舗が好調に推移し、主力のワコールブランドを中心に売上は前年同期を大きく上回りました。利益面では、出店の加速やプロモーション費用の増加などにより、前年同期を下回りました。

●売上高	153億49百万円	(前年同期比	7.4%増)
●営業利益	14億94百万円	(前年同期比	22.9%増)

#### c. ピーチ・ジョン事業

株式会社ピーチ・ジョン(2010年3~11月)につきましては、通信販売はコスメ系のビューティカタログは好調に推移したものの、主力の秋・冬号カタログの受注がいずれも低迷し、売上は前年同期を下回りました。国内直営店の売上は、前年同期に比べて店舗数が減少したことや売れ筋商品の欠品などで既存店舗が苦戦したこともあり、前年同期を下回りました。海外直営店につきましては既に香港に出店している2店舗に続き、8月以降、上海に3店舗をオープンしました。当初、納期遅延などの問題が発生しましたが、状況は徐々に改善してきており、12月には更に上海に2店舗を出店しました。このように海外展開を積極的に進めましたが、国内事業の苦戦の影響が大きく、ピーチ・ジョン事業全体の売上は、前年同期を下回りました。利益面ではカタログ発行部数の削減や広告媒体の見直しなど効率化に取り組みましたが、売上の減少に伴い営業損失が生じました。

●売上高	91億61百万円	(前年同期比	7.4%減)
●営業利益	△5億41百万円	(前年同期は営業損失1億47百万円)	

## d. その他

株式会社ルシアンにつきましては、主力のインナーウェアやアウターウェアを展開する製品事業は、量販店市場で苦戦し、前年同期を下回りました。アートホビー事業は、刺繍糸やパッチワーク用ソーイング生地が前年同期並みで推移したものの、レース素材を扱うマテリアル事業は、インナー用レースの売上が低調に推移し、前年同期を下回りました。ルシアン全体の売上は、主力の製品事業が不調だったことなどにより前年同期を下回りましたが、利益面については不採算事業の整理や経費削減が奏功し、営業利益は前年同期から改善し、黒字となりました。

マネキンの製造販売やレンタル、商業施設の設計や施工を行う株式会社七彩につきましては、マネキンの製造販売やレンタルがいずれも好調に推移し、主要得意先である百貨店の売場改装工事の受注も順調だったことにより、売上は前年同期を大きく上回りました。また、利益面では営業損失が生じたものの、経費の見直しを徹底したこともあり、収益性は大きく改善しました。

●売上高	165億19百万円	(前年同期比 37.9%増)
●営業利益	3億36百万円	(前年同期は営業損失3億17百万円)

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債、株主資本等の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、株価の変動による投資の減少などにより、前連結会計年度末に比して21億11百万円減少し、2,212億76百万円となりました。

負債の部は、流動負債では短期借入金や未払金の減少、固定負債では繰延税金負債の減少などにより、前連結会計年度末に比して7億39百万円減少し、490億95百万円となりました。

株主資本は、為替換算調整勘定や未実現有価証券評価益の変動などにより、前連結会計年度末に比して13億40百万円減少し、1,702億90百万円となりました。

以上の結果により、当第3四半期連結会計期間末における株主資本比率は、前連結会計年度末に比して0.2%増加し、77.0%となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して37億13百万円増加し、280億30百万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費やたな卸資産の減少などにより、98億3百万円の収入（前年同期に比し11億24百万円の収入増）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の売却及び償還収入などがあつたものの、有価証券や有形固定資産の取得などにより、18億29百万円の支出（前年同期に比し17億81百万円の支出減）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払などにより、35億40百万円の支出（前年同期に比し4億49百万円の支出減）となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の連結業績予想数値につきましては、平成22年10月29日発表時の業績予想からの変更はありません。

未だ本格的な景気回復や個人消費の改善には至っておらず、当社グループをとりまく経営環境は引き続き厳しい状況が続くと予想されますが、環境変化への対応力を強化しつつ、当社グループならではの高品質・高機能のものづくりを通して、真の価値のある商品を継続的に展開していくことで売上規模を拡大していく考えです。

株式会社ワコールにおきましては、引き続き「からだのエイジング」をキーワードにしたプロモーションを展開し、さらに浸透をはかることで下着市場の活性化につなげていきます。また株式会社ルシアンをはじめとする当社グループ全体の総合力を発揮した商品展開や店舗展開を推進していきます。さらに、今後も成長が期待できるSPA事業やウエルネス事業などについても積極的な拡大を図っていきます。

海外事業に関しては、円高に伴う為替換算の連結業績への影響が懸念されますが、米国事業は堅調に推移しており、引き続き商品の拡充やインターネット販売の強化に取り組んでいきます。また、中国事業はリスクファクターが存在するものの急速に拡大しており、事業環境の変化に対応しつつ、内陸部への出店加速と積極的なプロモーション活動による認知度アップを図ります。

ピーチ・ジョン事業に関しては、事業環境の変化に対応し業績を再び成長軌道に乗せるために、ビジネスモデルの転換、会社組織の改編、業務遂行方法の効率化を骨子とした構造改革を推進するとともに、中国事業を積極的に展開していきます。

●売上高	1,680億円	(前年同期比	2.9%増)
●営業利益	56億円	(前年同期比	47.0%増)
●税引前当期純利益	51億円	(前年同期比	63.3%増)
●当社株主に帰属する当期純利益	32億円	(前年同期比	26.8%増)

## 2. その他の情報

## (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

## (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

科 目	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度の 連結貸借対照表 (平成22年3月31日)	増減金額
(資産の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動資産			
現金及び現金同等物	28,030	24,317	3,713
定期預金	339	—	339
有価証券	5,506	6,529	△ 1,023
売掛債権			
受取手形	793	469	324
売掛金	21,524	21,116	408
	22,317	21,585	732
返品調整引当金及び貸倒引当金	△ 2,348	△ 1,972	△ 376
	19,969	19,613	356
たな卸資産	30,679	32,103	△ 1,424
繰延税金資産	4,143	4,595	△ 452
その他の流動資産	3,240	2,776	464
流動資産計	91,906	89,933	1,973
II. 有形固定資産			
土地	21,783	22,012	△ 229
建物及び構築物	60,993	61,585	△ 592
機械装置及び工具器具備品等	14,300	14,773	△ 473
建設仮勘定	529	103	426
	97,605	98,473	△ 868
減価償却累計額	△ 47,197	△ 46,653	△ 544
有形固定資産計	50,408	51,820	△ 1,412
III. その他の資産			
関連会社投資	14,619	14,769	△ 150
投資	33,645	35,828	△ 2,183
のれん	11,203	11,203	—
その他の無形固定資産	11,561	12,351	△ 790
前払年金費用	807	263	544
繰延税金資産	1,010	935	75
その他	6,117	6,285	△ 168
その他の資産計	78,962	81,634	△ 2,672
資産合計	221,276	223,387	△ 2,111



科 目	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度の 連結貸借対照表 (平成22年3月31日)	増減金額
	百万円	百万円	百万円
(負債の部)			
I. 流動負債			
短期借入金	7,435	7,941	△ 506
買掛債務			
支払手形	1,937	2,174	△ 237
買掛金	9,862	9,161	701
未払金	4,817	5,975	△ 1,158
	16,616	17,310	△ 694
未払給料及び賞与	4,618	5,927	△ 1,309
未払税金	2,531	2,105	426
その他の流動負債	4,099	2,400	1,699
流動負債計	35,299	35,683	△ 384
II. 固定負債			
退職給付引当金	2,214	2,269	△ 55
繰延税金負債	9,083	9,380	△ 297
その他の固定負債	2,499	2,502	△ 3
固定負債計	13,796	14,151	△ 355
負債計	49,095	49,834	△ 739
(資本の部)			
I. 資本金	13,260	13,260	—
II. 資本剰余金	29,388	29,366	22
III. 利益剰余金	138,968	137,155	1,813
IV. その他の包括損益累計額			
為替換算調整勘定	△ 9,802	△ 7,505	△ 2,297
未実現有価証券評価益	2,890	3,669	△ 779
年金債務調整勘定	△ 1,530	△ 1,783	253
V. 自己株式	△ 2,884	△ 2,532	△ 352
株主資本計	170,290	171,630	△ 1,340
VI. 非支配持分	1,891	1,923	△ 32
資本計	172,181	173,553	△ 1,372
負債及び資本合計	221,276	223,387	△ 2,111

## (2) 四半期連結損益計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)		増減金額 百万円
	百万円	%	百万円	%	
I. 売上高	124,571	100.0	128,373	100.0	3,802
II. 営業費用					
売上原価	60,038	48.2	62,035	48.3	1,997
販売費及び一般管理費	58,482	46.9	57,143	44.5	△ 1,339
営業費用計	118,520	95.1	119,178	92.8	658
営業利益	6,051	4.9	9,195	7.2	3,144
III. その他の収益・費用(△)					
受取利息	119	0.1	89	0.1	△ 30
支払利息	△ 93	△ 0.1	△ 73	△ 0.1	20
受取配当金	596	0.5	623	0.5	27
有価証券・投資有価証券売却損益及び交換益	8	0.0	15	0.0	7
有価証券・投資有価証券評価損	△ 1,440	△ 1.2	△ 1,085	△ 0.9	355
その他の損益(純額)	279	0.2	△ 47	△ 0.0	△ 326
その他の収益・費用計	△ 531	△ 0.5	△ 478	△ 0.4	53
税引前四半期純利益	5,520	4.4	8,717	6.8	3,197
法人税等	2,492	2.0	4,751	3.7	2,259
持分法による投資損益及び非支配持分帰属損益調整前四半期純利益	3,028	2.4	3,966	3.1	938
持分法による投資損益	738	0.6	771	0.6	33
四半期純利益	3,766	3.0	4,737	3.7	971
非支配持分帰属損益	△ 2	△ 0.0	△ 100	△ 0.1	△ 98
当社株主に帰属する四半期純利益	3,764	3.0	4,637	3.6	873

(注) 米国財務会計基準審議会会計基準書220「包括利益」を適用しており、同会計基準書に基づく前第3四半期連結累計期間、当第3四半期連結累計期間の当社株主に帰属する四半期包括損益はそれぞれ6,309百万円、1,814百万円であります。

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	(自 平成21年 4月 1日 至 平成21年12月31日)	(自 平成22年 4月 1日 至 平成22年12月31日)
	百万円	百万円
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 四半期純利益	3,766	4,737
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
(1)減価償却費	3,471	3,554
(2)返品調整引当金及び貸倒引当金	209	414
(3)繰延税金	△ 512	617
(4)固定資産除売却損益	77	△ 159
(5)有価証券・投資有価証券評価損	1,440	1,085
(6)有価証券・投資有価証券売却益及び交換益	△ 8	△ 15
(7)持分法による投資損益(受取配当金控除後)	△ 330	△ 355
(8)資産及び負債の増減		
売掛債権の減少(△増加)	1,313	△ 975
たな卸資産の減少	462	844
その他の流動資産等の減少(△増加)	452	△ 515
買掛債務の減少	△ 2,482	△ 120
退職給付引当金の増加(△減少)	218	△ 163
その他の負債等の増加	368	633
(9)その他	235	221
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,679	9,803
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 定期預金の純増減額	—	△ 363
2. 有価証券の売却及び償還収入	8,095	2,495
3. 有価証券の取得	△ 7,374	△ 1,425
4. 有形固定資産の売却収入	210	540
5. 有形固定資産の取得	△ 2,558	△ 1,985
6. 無形固定資産の取得	△ 1,146	△ 525
7. 投資の売却収入	—	98
8. 投資の取得	△ 1,071	△ 548
9. 株式交換による子会社資金の受入額	362	—
10. その他	△ 128	△ 116
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,610	△ 1,829
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増減額	73	△ 480
2. 長期債務による調達	—	200
3. 長期債務の返済	△ 199	△ 69
4. 自己株式の増減	△ 352	△ 367
5. 配当金の支払	△ 3,511	△ 2,824
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,989	△ 3,540
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響額	3	△ 721
V. 現金及び現金同等物の増減額	1,083	3,713
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	22,939	24,317
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	24,022	28,030

## 補足情報

現金支払額		
利息	93	73
法人税等	1,876	3,651
現金支出を伴わない投資活動		
株式交換による投資有価証券の取得額	11	—
株式交換による連結子会社株式の取得額	2,489	—

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## ① オペレーティング・セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（平成21年4月1日～平成21年12月31日）

（単位：百万円）

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	88,413	14,288	9,895	11,975	124,571	—	124,571
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,341	4,822	7	2,352	8,522	△ 8,522	—
計	89,754	19,110	9,902	14,327	133,093	△ 8,522	124,571
営業利益（△損失）	5,299	1,216	△ 147	△ 317	6,051	—	6,051

当第3四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	87,344	15,349	9,161	16,519	128,373	—	128,373
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,654	4,549	47	3,278	9,528	△ 9,528	—
計	88,998	19,898	9,208	19,797	137,901	△ 9,528	128,373
営業利益（△損失）	7,906	1,494	△ 541	336	9,195	—	9,195

(注) 1. 前連結会計年度末より米国財務会計基準審議会会計基準書280「セグメント報告」を適用しております。

これにより、前第3四半期連結累計期間に係るセグメント情報の数値を組替再表示しております。

2. 平成22年3月期の有価証券報告書においては、七彩事業は「その他」に含めず独立したオペレーティング・セグメントとして開示しておりますが、決算短信では「その他」に含めて開示しております。

3. 各事業の主な製品

ワコール事業（国内） …… インナーウェア（ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー）、アウターウェア、スポーツウェア、レッグニット他

ワコール事業（海外） …… インナーウェア（ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー）、アウターウェア、スポーツウェア、レッグニット他

ピーチ・ジョン事業 …… インナーウェア（ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー）、アウターウェア、その他繊維関連商品他

その他 …… インナーウェア（ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー）、アウターウェア、その他繊維関連商品、マキア人形、店舗設計・施工他

## ② 地域別情報

前第3四半期連結累計期間(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	110,071	5,899	8,601	124,571
構成比	88.4%	4.7%	6.9%	100.0%
営業利益	4,272	985	794	6,051

当第3四半期連結累計期間(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	112,622	6,813	8,938	128,373
構成比	87.7%	5.3%	7.0%	100.0%
営業利益	7,239	768	1,188	9,195

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア: 東アジア及び東南アジア諸国

欧米: 北米及びヨーロッパ諸国

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (7) 販売の状況

製品の種類		前第3四半期 自平成21年4月1日 至平成21年12月31日		当第3四半期 自平成22年4月1日 至平成22年12月31日		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
インナーウェア	ファンデーション・ランジェリー	88,761	71.3	91,311	71.1	2,550	2.9
	ナイトウェア	7,642	6.1	6,902	5.4	△740	△9.7
	リトルインナー	1,330	1.1	1,261	1.0	△69	△5.2
	計	97,733	78.5	99,474	77.5	1,741	1.8
アウターウェア・スポーツウェア等		13,128	10.5	13,539	10.6	411	3.1
レッグニット		1,390	1.1	1,413	1.1	23	1.7
その他繊維製品及び関連製品		5,437	4.4	5,708	4.4	271	5.0
その他		6,883	5.5	8,239	6.4	1,356	19.7
合計		124,571	100.0	128,373	100.0	3,802	3.1